

美しい音色に包まれて癒しのひととき(*'ω'*)

12月22日(木)福島ともしび苑では、音楽ふれあいグループ「きらっと」さんによるハンドベルとトーンチャイムのクリスマスコンサートが開催されました♡
美しく、優しい音色が流れると、一瞬で温かい空間に(^[^])
クリスマスソングを中心に、ご利用者様に馴染みのある懐かしい音楽も演奏してくださいました。リクエストにも快く応じていただき、ご利用者様も口ずさんだり手拍子をされたり、存分に楽しまれていました☆



王道のクリスマスソングのメドレー♪
「きらっと」さんのチームワークで、テンポよく演奏が続きます(*^_^*)



クリスマスソング以外にも、中島みゆきさんの「糸」や、第九(喜びの歌)まで幅広く演奏してくださいました。



楽しい時間はあっという間でした☆
何かと忙しい年末に、ほっとできたご利用者様も多いのではないのでしょうか(^[^])



<編集後記>

今年もコロナに翻弄された1年となりましたが、中でも自分たちにできることは何かを考え、実行したことで利用者様が楽しまれている様子をともしび通信でたくさん発信できましたこと、とても嬉しく思います。皆さま取材のご協力ありがとうございました！
☆今年最後のともしび通信となります。
皆さまよいお年をお迎えください(^[^])

職員インタビューコーナー

介護士になろうと思ったきっかけ

「誰かの助けになるような仕事で、自分ができることは何だろう」と考えた時に、対人援助職の中では介護の仕事が思い浮かびました。祖母も亡くなる前は施設でお世話になったので高齢者施設のイメージはできていたこともあり、やってみようと思ったことがきっかけです。

実際に働いてみて感じたこと

入社した時は既にコロナが広まっていたので、家族さんと会えずまいになってしまった入居者さんもいらっしゃいました。私は祖母とは会っていたので、コロナ禍の制限で会うことも叶わず、会話もできないまま…という状況を目の当たりにして、色々な感情を抱いたことをとても覚えています。初めての環境で驚くことも多々あったのですが、中でもご自身で食事が摂れないご利用者さんで、その方の状態が認知症の進行によるものでも麻痺などの身体的な制限によるものでもないのに食事がなかったことです。そこにすごく難しさを感じました。汚染や、時には入居者さんから厳しい言葉が発せられることは予め聞いていたので、それなりに受け止め、対応はできたと思います。

未経験からの学び

入社したての頃は、介護技術も制度もわからないことが多かったのですが、先輩から老人福祉法で色々なことが定められていることを教わり、知れば知るほど興味が沸いてきました。また、自分自身、力に頼ったケアになりがちなのですが、先輩の技術を真似て違ったやり方を吸収しています。居室の環境整備については川崎リーダーや女性職員がよく気が付くので、その視点を自分も持つように「どこに目を配るのか」「どこを注意してチェックしているのか」、日々学んでいるところです。

励みになること

名前を覚えてくださったり、元気に「おはようございます！」とご挨拶させていただく喜びはもちろんですが、一方で、毎日、まるで初対面かのような反応をされる入居者さんも居られます。そのような入居者さんのお姿を拝見すると、何気ない日常でも何だかフレッシュな気持ちになりますね(^[^])



福島ともしび苑 介護士 出口肇さん

休日の過ごし方、ストレス対処

自宅にずっと居ると言うよりは、ウインドウショッピングをしたり、出る方が多いかな、と思います。自宅で過ごす事もありますが、その時はバラエティー番組の録画を観たり、たまにですが、漫才師のロングコートダディを観になんばグランド花月に行く事もあります(^[^])
ストレス対処は、ぐっすり眠る事です☆そうするとスッキリして、忘れることもできます。

未来の自分

経験を重ねてスキルアップし、介護福祉士を取得してたいですし、認知症に関すること、身体介護の技術に関することをもっと勉強したいです。福祉の知識をどんどん増やして、更に力を発揮していきたいと思います。最近、外国人の方も2名入社し、不慣れながらも頑張っておられます。今も困っている場面では助言させてもらっていますが、今後もコミュニケーションを重ね、先輩としてサポートしていきたいと思っています。